

第17回 NCGM 国際感染症フォーラム

The 17th NCGM
International Infectious
Diseases Forum

開催日程

2024年9月5日(木)

15:00 - 17:30

プレゼンテーション形式
オンライン(ZOOM)

言語

日本語 / 英語 (同時通訳)

会費
参加費
無料*

*要事前申込

[オンライン申し込みはこちら](#)



オンラインからお申込みできない場合は、
NCGM 国際感染症フォーラム事務局までご連絡
ください。



テーマ

ウイルス性肝炎の診断・治療の最前線と今後の展望

WHOによると、様々なB型肝炎ウイルス(HBV)感染予防策が講じられていますが、アフリカやアジアの多くの国々では、未だHBVの感染率は高い状況にあります。また、世界的な高齢化に伴い、HBVを原因とする肝硬変や肝細胞がんの患者数の増加も危惧されています。

本フォーラムでは、アジア諸国における肝炎ウイルス、特にHBV感染の動向、日本で開発された新たな診断マーカー、最新の創薬研究から臨床応用について、ご講演ならびにご討議をしていただきます。

プログラム

15:00 開会挨拶

15:05 報告：The ARO Alliance for Southeast and East Asia (ARISE) –
現状と今後の展望

ムチャंगा シファ マリ ジョウエレ

(国立国際医療研究センター 臨床研究センター国際ナショナルトライアル部 上級研究員)

15:15 シンポジウム「ウイルス性肝炎の診断・治療の最前線と今後の展望」

座長：杉浦 互 (国立国際医療研究センター 臨床研究センター長)

考藤 達哉 (国立国際医療研究センター 研究所 肝炎・免疫研究センター長)

講演1 「新たなバイオマーカー高感度 HB コア関連抗原測定 of 臨床的有用性」

井上 貴子

(名古屋市立大学大学院医学研究科 共同研究教育センター 准教授 / 大学病院中央臨床検査部長)

講演2 「B型肝炎に関する新たなバイオマーカーの研究・開発」

杉山 真也

(国立国際医療研究センター 研究所 感染病態研究部テニュアトラック部長)

講演3 「慢性 B型肝炎ウイルスの疫学、自然経過及び制御」

李 美璇

(国立陽明交通大学医学部 臨床医学研究所 教授 | 台湾)

講演4 「タイにおける慢性 B型肝炎：疫学、治療、現在の課題」

ピシット タンキジバニッチ

(チュラロンコン大学 医学部生化学講座 教授 / 肝炎・肝がん研究センター長 | タイ王国)

講演5 「B型肝炎創薬研究から臨床応用へ」

田中 靖人

(熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学講座 教授 / 熊本大学病院 肝疾患センター長)

総合討議

閉会

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

臨床研究センター 国際ナショナルトライアル部内

Email : ncgm-iidf@event-info.jp